



平成 19 年 2 月 28 日

各 位

会 社 名 株式会社 小糸製作所
代 表 者 名 取締役社長 大嶽隆司
(コード番号 7276 東証第1部)
問 合 せ 先 取締役総務部長 鶴田幹男
(TEL 03-3443-7111)

子会社の株式譲渡に関するお知らせ

株式会社 小糸製作所（本社：東京都港区、社長：大嶽隆司）は、韓国の子会社
イノベイティブ・ハイテク・ライティング・コーポレーション（以下、IHL社）の
当社所有株式を、現代自動車グループの部品メーカーである現代モータース社に譲渡する
ことと致しましたので、お知らせ致します。

記

1. 株式譲渡の理由

- 1. ・ 当社は、1997年7月韓国の国内向け自動車用照明機器の製造・販売（除く海外市場）
を目的として、韓国・アポロ産業（現エコプラスチック社）と、50対50の
日韓合弁会社 仁熹ライティング社（現IHL社）を設立、且つライセンスとして
事業を展開してきた。
 - ・ 2004年3月 アポロ産業を現代モータース社が買収したことにより、現代モータース社が
実質的な仁熹ライティング社の株主となり、その後、アポロ産業の社名を
エコプラスチック社に変更すると共に、仁熹ライティング社をIHL社と社名変更し、
現在に至っている。
 - ・ 近年、現代自動車のグローバル展開に伴い、現代モータース社よりIHL社の海外進出
（北米、中国等）を強く要望されていた。
- 2. 現代モータース社の要望を踏まえ、両社で協議をしたが、
- ①当社にとっての子会社IHL社は、当初の目的通り、韓国国内向けとしての
位置付けであること。
 - ②当社は、既に日本・米州・欧州・アジアの世界4極における生産・供給体制を構築
しており、IHL社の海外進出は、小糸グループ内における経営資源の重複、
或いは、二重投資になること。
 - ③グループ内といえども、無駄な競合が危惧されること。
- 上記により当社は、IHL社の海外進出には同意できないとした。

加えて、IHL社の海外進出につき、両社の方針が相反することから、今後の
韓国内における事業についても成長・発展が危惧されること、等々の事由により、
この度、当社所有のIHL社全株式を現代モータース社に譲渡し、
同時にIHL社に対する技術援助契約を終結することで、両社 円満に合意した。

2. 譲渡先

現代モービス 株式会社

3. 譲渡する株式数及び譲渡後の持分比率

- (1) 譲 渡 株 式 数 : 200 千株 (I H L 社 発行済株式数の 50%)
- (2) 譲渡後の持分比率 : 譲渡後における当社の持分比率は 0%になります。

4. 譲渡スケジュール

株式譲渡に関わる契約、及び実施につきましては、平成 19 年 3 月を予定しています。

5. I H L 社の概要

- (1) 会 社 名 : イノベティブ・ハイテク・ライティング・コーポレーション
(英文名 Innovative Hightech Lighting Corporation)
- (2) 代 表 者 : 李 宗 燦
- (3) 所 在 地 : 韓国慶北慶州市外東邑汶山里 742-28
- (4) 設 立 : 1993 年 10 月
- (5) 資本参加 : 1997 年 7 月
- (6) 事業内容 : 自動車用照明機器の製造・販売
- (7) 決 算 期 : 12 月末
- (8) 資 本 金 : 20 億 W (2.4 億円、R/0.12 円、2005 年 12 月末)
- (9) 出資比率 : 小糸製作所 50%、エコプラスチック 50%
- (10) 売 上 高 : 1,985 億 W (238 億円、R/0.12 円、2005 年 12 月期)
- (11) 従業員数 : 534 名 (2005 年 12 月末)

6. 譲渡先の概要

- (1) 会 社 名 : 現代モービス 株式会社
(英文名 Hyundai Mobis Co., Ltd.)
- (2) 代 表 者 : 韓 圭 煥
- (3) 所 在 地 : 韓国ソウル特別市江南区駅三 1 洞 679-4 ING BUILDING
- (4) 設 立 : 1977 年 7 月
- (5) 事業内容 : 自動車用部品の製造・販売
- (6) 決 算 期 : 12 月末
- (7) 資 本 金 : 4,329 億 W (519 億円、R/0.12 円、2005 年 12 月末)
- (8) 売 上 高 : 75,477 億 W (9,057 億円、R/0.12 円、2005 年 12 月期)
- (9) 従 業 員 : 4,270 名 (2005 年 12 月末)

以 上